

日本語と韓国語の授受表現に関する対照研究 —日本語の小説の中の授受表現とその翻訳例についての考察を中心に—

朴 錦女

1. 研究背景と目的

日本では、今まで授受表現¹についての研究が盛んに行われてきた。その結果、日本語の授受動詞は「やる／あげる」「さしあげる」「もらう」「いただく」「くれる」「くださる」など他の言語に比べ多様な形式を持っており、どれも授受補助動詞として使われていることも、また、その形式が多様であるだけでなく、物や好意の移動方向や授受行為の参加者間の上下・親疎関係などの要素が複雑に絡んでいることが明らかになっている。

近年、授受表現における日韓対照研究も盛んに行われており、その韓国語の授受動詞には「주다/juda/² (やる、あげる、くれる)」「받다/batda/ (もらう)」「드리다/deurida / (あげる、さしあげる)」「주시다/jusida/ (くださる)」4種類しかなく、その中でも「받다/batda/ (もらう)」は授受補助動詞としての使用は非文法的³であることが判明した。このような研究成果を踏まえて、さらに、日本語の「～てもらう」文は韓国語でどのように訳されるかという研究も多く行われている。このような研究成果により日本語と韓国語の授受表現の様子が徐々に明らかになっている。

本研究では、いままでの先行研究を踏まえて、日本語の小説とその小説の韓国語翻訳本における実例を抽出し、分析を行うことで、日本語と韓国語の授受表現の相違点を明らかにすることを目的とする。

2. 先行研究

日本語と韓国語の授受表現の対照研究で、多く取り上げられるのは林(1980)である。

林(1980)では、「受給表現」という表現を使用し、日本語と韓国語の受給表現について対照研究を行なった。その結果、日本語の「やる、あげる、くれる」は韓国語では「주다/juda/」であり、「もらう」は「받다/batda/」、「あげる、さしあげる」は「드리다/deurida /」、「くださる」は「주시다/jusida/」であり、「받다/batda/」は日本語の「もらう」と違って授受補助動詞としては使えないことを述べた。また、日本語の受益表現には「話し手の関与」の問題が出て来るが、韓国語の場合は「話し手の関与」という点が作用しないと述べている。林(1980)は日本語と韓国語の授受表現について体系的にまとめているため、後の日本語と韓国語の対照研究の基礎にも

¹ 本研究では、授受の本動詞と授受補助動詞を含めて授受表現とする。

² ローマ字表記は、2000年大韓民国文化観光部告示第2000-8号「国語のローマ字表記法(국어의 로마자 표기법)」によるものである。

³ 韓国語では「～ 어 (아) 받다 /～e (a) batda/」の形式は非文である。

なり、多くの問題点を提起した論文であることは間違いない。

徐 (2007) では、「겨울연가 (冬のソナタ)」の対訳資料を用いて、「てもらう」を分析した結果、形式として現れたパターンは①「-e(a) juda」⁴②「N (名詞) + /batda /」③要求を表す「dalla」⁵④依頼表現の添加の4つに分けられ、これらのパターンを意味で分けると①は恩恵、②は受動、③と④は使役になり、4つの出現要因が「てもらう」の多義性と関係があることを明らかにした。

本研究では、先行研究を参考にし、日本語の小説とその翻訳本を用いて、対照研究を行うことにする。

3. 研究方法

本研究では、日本語と韓国語の授受表現の全貌と両言語の授受表現の相違点を明らかにすることを目的とする。

本研究では、日本語の授受表現が韓国語でどのように扱われているかについて調べるため、日本語の小説とその小説の韓国語翻訳本を用いる。そして、日本語の小説から授受表現の文を抽出し、その訳例を調べることにする。本研究で使用する小説とその翻訳本の概要は以下の表1のとおりである。

表1 日本語の小説とその翻訳本概要

作品名	著者	刊行時期	翻訳者	翻訳本刊行時期
『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』	リリー・フランキー	2005年	양윤옥	2007年
『ダンス・ダンス・ダンス』(上)	村上春樹	1971年	유유정	1994年
『窓ぎわのトットちゃん』	黒柳徹子	1981年	김난주	2000年
『草枕』	夏目漱石	1905年	오석윤	2005年

4. 結果と考察

4. 1 日本語の小説における授受表現

本研究では、小説の文を文の種類によって会話文、心話文、地の文に分けて分析を行うことにした。文の種類による日本語の小説の授受表現の状況は表2のとおりである。

⁴ 「-e(a) juda」は日本語の「あげる」と「くれる」に相当する韓国語「주다」の補助動詞形。

⁵ 「dalla」は自分に何かをくれることを他人に要求する、或いは頼むこと。日本語の「くれる」の命令形「くれ」に相当する。(三省出版社『세 우리말 큰사전』<増補版>P785より引用)

表2 小説の中の授受表現について

	小説	やる	てやる	あげる	てあげる	さしあげる	てさしあげる	くれる	てくれる	くださる	てくださる	もらう	てもらう	いただく	ていただく
会 話 文	東京	0	12	0	5	0	0	5	22	0	14	4	25	1	0
	ダンス	0	2	0	12	0	0	0	53	0	8	1	19	0	2
	草枕	0	4	3	7	0	0	0	9	0	6	5	2	0	2
	トット	0	1	1	3	0	0	1	2	0	12	1	7	0	2
心 話 文	東京	0	0	0	6	0	0	0	2	0	0	2	1	0	0
	ダンス	0	1	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	草枕	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	トット	0	1	1	4	0	0	0	6	0	2	1	3	0	0
地 の 文	東京	0	1	0	8	0	0	4	85	0	0	16	61	0	0
	ダンス	0	4	0	0	0	0	1	47	0	0	1	8	0	0
	草枕	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0
	トット	0	0	0	2	0	0	1	29	0	4	1	5	0	4
合計		0	31	5	49	0	0	12	264	0	46	32	132	1	10

(表2の中の「東京」は『東京タワー ―オカンとボクと、時々、オトン―』、「ダンス」は『ダンス・ダンス・ダンス(上)』、「トット」は『窓ぎわのトットちゃん』の略であり、表の中の数字は各授受表現の使用例の数である)

本研究の結果を授受表現別にみると「あげる」系授受表現(「やる」、「てやる」、「あげる」、「てあげる」、「さしあげる」「てさしあげる」を含む)の使用例が一番少なく、「くれる」系授受表現(「くれる」、「てくれる」、「くださる」、「てくださる」表現を含む)の使用例が322例と一番多く、「もらう」系授受表現(「もらう」、「てもらう」、「いただく」、「ていただく」を含む)の使用例が175例で2番目に多い。

文構造レベルからみると、授受表現の補助動詞の使用例が本動詞の使用を上回っていることが分かった。特に、待遇表現である「さしあげる」、「くださる」の本動詞としての使用例は0であり、「いただく」においても一例しかない。使用例が一番多い授受表現は「てくれる」で、264例であり、次に使用例が多い授受表現は「てもらう」で、132例であった。

文の種類によって「てくれる」の使用例をみると、会話文と地の文における「てくれる」の使用率はそれぞれ32.6%と62.5%であり、地の文での使用率が会話文での使用率を30%ほど上回っている。「てもらう」の会話文と地の文での使用率はそれぞれ40.2%と56.8%であり、地の文での使用率が会話文での使用率を16%ほど上回っている。小説における「てくれる」と「てもらう」の使用は両者とも地の文での使用率が高い。

4. 2 小説の授受表現とその翻訳文

4. 2. 1 「やる/てやる」表現とその翻訳文

本研究の研究対象になった小説では本動詞の「やる」の使用例はなかった。

補助動詞「てやる」の使用例は31例あり、授受表現全体の5.3%を占める。そのうち、韓国語で「~어(아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳されたものが22例で、「てやる」の使用例全体の71%を占めており、韓国語の翻訳において日本語の「てやる」

が翻訳されていないものが8例で、「てやる」の使用例全体の26%ほど占めており、「~다 주다/~da juda/」に翻訳されたものが1例で、「てやる」の使用例全体の3%を占めている。

次の例(1)は「~어(아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳された例文である。

- (1) 僕がカフカの小説のあらすじを漁師に説明してやったが、
나는 카프카 소설의 줄거리를 어부에게 설명해 주었으나,
(『ダンス・ダンス・ダンス』上より)

次の例(2)は韓国語の翻訳において日本語の「てやる」が省略された例文である。

- (2) その内容はどうやって人々を笑わせてやろうかというもので、
그 내용은 어떻게 하면 사람들을 웃게 할 것인가 하는 것이었다.
(『東京タワー ―オカンとボクと、時々、オトン―』より)

林(1980)では、日本語の「てやる」の用法には「自己意志の顕示・強調」または、「実際、話者とは無関係の一方的な主観的表現」があり、もとになる動詞を強める機能をしているが、省略しても意味上何の変化もないと述べている。本研究においても、「てやる」が省略された使用例をみると、「てやる」に前接する動詞が「笑わせる」、「食べさせる」のような「動詞の使役形」の場合や、「連れて行く」、「救う」のように動詞自体に話者の意志が含まれる場合に多く現れている。このような結果は林(1980)で述べている「てやる」の用法と一致する。

それから、「てやる」が「~다 주다/~da juda/」に翻訳されたものは1例しかなかったが、とても興味深い結果でもあった。韓国語において、「~다 주다/~da juda/」の中の「~다」は「一つの動作が終って、それから」という意味であるため、この場合の「주다/juda/」は補助動詞ではなく、本動詞である。この結果は韓国語では、日本語の「てやる」を物事の順序として捉える傾向があることを示唆する。

4.2.2 「あげる/てあげる」表現とその翻訳文

4.2.2.1 「あげる」表現について

本研究において、本動詞「あげる」の使用例は5例あった。そのうち、韓国語で「주다/juda/」に翻訳したものが2例で、「드리다/deurida/」に翻訳したものが1例、残りの2例が授受表現を使用しない意識であった。

次の例(3)は韓国語で「주다/juda/」に翻訳した例文である。

- (3) 葬式饅頭、持ってきて、みんなにあげます!!
장례식 만두 가져와서 모두에게 주겠습니다!
(『窓ぎわのトットちゃん』より)

次の例(4)は韓国語で「드리다/deurida/」に翻訳した例文である。

- (4) 幾つでも上げましょ。
몇 개라도 드리죠.
(『草枕』より)

日本語の「あげる」は韓国語の「주다/juda/」に相当するというのは今までの先行研究でも多く言われている。例(4)の会話文は初対面の主人公に対する蜜柑取り

の発話文である。日本語では「あげる」を使うのに比べ韓国語では日本語の「さしあげる」に相当する「드리다/ *deurida* /」が選択されている。本研究での使用例が少ないことから明言はできないが、直接会話において日本語より韓国語の方が敬語を選択する傾向にあるのではないかと思われる。

4.2.2.2 「てあげる」表現について

本研究において「てあげる」の使用例は全部で 49 例あった。そのうち韓国語で「~어 (아) 주다/ ~e(a) juda /」に翻訳したものが 31 例で、「てあげる」の使用例全体の 63% を占めており、「~어 (아) 드리다/ ~e(a) deurida /」に翻訳したものが 9 例で、「てあげる」の使用例全体の 22% を占めており、「てあげる」の部分が省略されたものは 6 例で、「てあげる」の使用例全体の 12% を占めており、「~다 주다/ ~da juda /」に翻訳したものが 1 例で、「てあげる」の使用例全体の 2% を占めており、意識で翻訳したものが 2 例で、「てあげる」の使用例全体の 4% を占めている。

次の例 (5) は韓国語で「~어 (아) 주다/ ~e(a) juda /」に翻訳した例文である。

- (5) オカンにダンスや指輪や着物を買ってあげたらしい。
 엄니에게 서랍장이며 반지며 기모노도 사준 모양이었다.
 (『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

次の例 (6) は韓国語で「~어 (아) 드리다/ ~e(a) deurida /」に翻訳した例文である。

- (6) 今火を焚いて乾かして上げましょ
 지금 불을 때서 말려 드리지요”
 (『草枕』より)

日本語の「てあげる」が韓国語で「~어 (아) 드리다/ ~e(a) deurida /」に翻訳した 9 例はすべて会話文であった。聞き手が主に「お客さん」であることから敬語を使用していると考えられる。もう一つの特徴は、9 例のうち 7 例が女性の発話文であった。このことから韓国語では女性の会話に敬語が多く現れると考えられる。

次の例 (7) は翻訳の際に「てあげる」部分が省略された例文である。

- (7) 私、大きくなったら、この学校の先生に、なってあげる。必ず。
 저, 크면 이 학교 선생님이 되겠어요. 꼭어요!
 (『窓ぎわのトットちゃん』より)

例 (7) からも分かるように、この例の中の「てあげる」は「学校の先生になる」という「私」の自己意志の強調である。このような場合、「てあげる」の部分が省略されても文全体の意味は通じるという観点からは林 (1980) でも述べられており、韓国語の翻訳において省略される傾向にある。

次の例 (8) は韓国語で「~다 주다/ ~da juda /」に翻訳した例文である。

- (8) 花をむしってあげたり、
 꽃을 꺾어다 주거나
 (『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

「てあげる」が「~다 주다/ ~da juda /」に翻訳したことは上記の 4.2.1 で述べ

たように、韓国語では日本語の授受補助動詞を行為の移動として捉えるのではなく、順序として捉えている見方が存在することを示唆する。

4.2.3 「くれる/てくれる」表現とその翻訳文

4.2.3.1 「くれる」表現について

本研究において日本語の「くれる」の使用例は全部で12例あった。そのうち、韓国語で「주다 /juda/」に翻訳したものは7例で、「くれる」の使用例全体の58%を占めており、韓国語で「주다/juda/」の命令形である「달라/dalla/」に翻訳したものが2例で、「くれる」の使用例全体の17%を占めており、「~다 주다/~da juda/」に翻訳したものが1例で、「くれる」の使用例全体の8%を占めており、韓国語で「주다/juda/」の尊敬語である「주시다/jusida/」に翻訳したのが1例で、「くれる」の使用例全体の8%を占めている。

次の例(9)は韓国語で「주다/juda/」に翻訳した例文である。

- (9) お願いしたけど、切符をくれなかったこと。
부탁했는데도 표를 주지 않았다는 얘기・・・

(『窓ぎわのトットちゃん』)

次の例(10)は韓国語で「주다/juda/」の命令形である「달라/dalla/」に翻訳した例文である。

- (10) そのお金をくれと言うつもりじゃないが、
혹시 있었다 해도 그 돈을 달라고 할 마음은 없었지만,
(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

上記の例(10)の日本語では「くれる」の命令形である「くれ」を使用していて、それに伴い韓国語でも「주다/juda/」の命令形である「달라/dalla/」に翻訳している。

次の例(11)は韓国語で「~다 주다/~da juda/」に翻訳した例文である。

- (11) いつも帰って来た時には鳩サブレをお土産にくれた。
고향을 찾을 때마다 사브레를 선물로 사다 주었다.

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

例(11)の「~다 주다/~da juda/」は、日本語の「てやる」と「てあげる」と同様に順序として捉えたものである。

次の例(12)は韓国語で「주다/juda/」の尊敬語である「주시다 /jusida/」に翻訳した例文である。

- (12) ばあちゃんの買い物かごを持って買い物を手伝うと、少し小遣いをくれるので、
할머니의 시장바구니를 들고 장보는 일을 도와주면 용돈을 조금씩 주셨기 때문에 ,

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

例(12)のように、日本語では「ばあちゃん」は身内であるため「くれる」を用いるのに比べ、韓国語は素材敬語であるため、目上であれば身内に対しても敬語を使

用している。

4. 2. 3. 2 「てくれる」表現について

本研究において、「てくれる」の使用例は 264 例あった。そのうち、韓国語で「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳したものが 173 例で、「てくれる」の使用例全体の 66%を占めており、韓国語で「~어 (아) 달라/~e(a) dalla /」で翻訳されたものが 19 例で、「てくれる」の使用例全体の 7%を占めており、韓国語で「~다 주다/~da juda/」に翻訳したものが 11 例、「てくれる」の使用例全体の 4%を占めており、韓国語で尊敬形式である「~어 (아) 주시다/~e(a) jusida/」に翻訳したものが 9 例で、「てくれる」の使用例全体の 3%を占めており、「てくれる」の部分が省略されたのが 33 例で、「てくれる」の使用例全体の 13%を占めており、意識のものが 18 例で、「てくれる」の使用例全体の 7%を占めている。

次の例 (1 3) は韓国語で「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳した例文である。

- (1 3) すぐに私立病院への紹介状を書いてくれて、
즉시 시립병원에 소개장을 써 주었다.

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

次の例 (1 4) は韓国語で「~어 (아) 달라/~e(a) dalla /」に翻訳した例文である。

- (1 4) そのアルバムは自分のだと思っから返してくれと言ったが、
그 앨범은 내 것이니 돌려달라고 말했지만,

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

次の例 (1 5) は韓国語で「~다 주다/~da juda/」に翻訳した例文である。

- (1 5) 僕を渋谷のアパートまで送ってくれた。
나를 시부야의 아파트까지 바래다 주었다.

(『ダンス・ダンス・ダンス』上より)

韓国語では、日本語の「てくれる」の用法を「てやる」、「てあげる」などと同様に受益の用法として捉えるのではなく、物事の順序として捉える傾向がある。

次の例 (1 6) は韓国語で尊敬形式である「~어 (아) 주시다/~e(a) jusida/」に翻訳した例文である。

- (1 6) まあ丁寧に診てくれるけん、心配しなさんな。
뭐, 꼼꼼하게 봐주시니까 걱정하지 마라.

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

この9つの例はすべて会話文である。そのうち、「お医者さん」や「学校の先生」の行為を表すものが4例あった。このことは、韓国語は素材敬語であることを証明している。残りの5例は「私の話を信じてくれる?」「きいてくれる?」などのように、話し手が聞き手に直接何かを依頼する会話文であった。この5つの例文の聞き手には「お客さん」もいれば「旅館の仲居」もいた。このことは韓国語の会話文では、相手が目下、目上に関わらず、その相手に何かを依頼する場合、敬語を使用する傾向があると

考えられる。

次の例(17)は、「てくれる」の部分が省略された例文である。

(17) 前野君がいつもすぐに会いに来てくれる。

항상 마에노 군이 즉각 나를 만나러 왔다.

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

日本語においては語り手が「てくれる」を用いて、「会いに来る」という行為について「有難い」という気持ちを表現する。それに比べると韓国語では「会いに来る」という行為に対する語り手の気持ちは表現せず、その事実だけを淡々と述べている傾向がある。このような傾向は地の文(22例)だけでなく、会話文(10例)でも同じ傾向が見られた。また、韓国語の翻訳で「てくれる」が省略される33例を概観すると、前接する動詞に「連れて行く」、「帰ってくる」、「会いに来る」、「貸す」、「借金する」、「売る」、「思い出す」など、「動詞自体」に一定の方向性が含まれるものが多いという印象を受ける。韓国語の翻訳で「てくれる」が省略されることとその前接する動詞との関係性については今後の課題とする。

4. 2. 4 「てくださる」表現とその翻訳文

本研究において、日本語の小説の中の「てくださる」の使用例は46例あった。そのうち、「てください」で現れたものは36例で、「てくださる」の使用例全体の78%を占めている。日本語の「てください」はすべて会話文で現れた。そのうち、韓国語で「~어 (아) 요/~e (a) yo/」で翻訳したものが20例で、「てくださる」の使用例全体の43%を占めており、「~어 (아) 주세요/~e(a) juseyo/」に翻訳したものが15例で、「てくださる」の使用例全体の33%を占めており、「/~어 (아) 달라/~e(a) dalla /」に翻訳したものが1例で、2%を占めている。

次の例(18)は韓国語で「~어 (아) 요/~e (a) yo/」に翻訳した例文である。

(18) 早よ上がってゆっくりしてください。

어서 들어가서 편히 쉬어요.

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

次の例(19)は「~어 (아) 주세요/~e(a) juseyo/」に翻訳した例文である。

(19) 私のこと、変な風に思わないでくださいね。

저를 이상하게 생각지 말아주세요.

(『ダンス・ダンス・ダンス』上より)

日本語の「てください」が単なる指示・命令、或いは勧誘の意味が強い場合、韓国語では「~어 (아) 요/~e (a) yo/」に翻訳される傾向がある。一方で、「先生私の画をかいて下さいな」、「私のこと、変な風に思わないでくださいね。」など依頼の意味が強い場合、韓国語では「~어 (아) 주세요/~e(a) juseyo/」に翻訳される傾向があった。

次の例(20)は「/~어 (아) 달라/~e(a) dalla /」に翻訳した例文である。

(20) 一番わるい洋服を着させてください、というお願いだった。

가장 허름한 옷을 입혀 보내 달라는 부탁이었다.

(『窓ぎわのトットちゃん』より)

また、本研究において、「くださる」という基本形として現れたものは 10 例で、「くださる」の使用例全体の 22%を占めている。そのうち韓国語で「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳したものが 5 例で、「くださる」の使用例全体の 11%を占めており、韓国語で「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」の尊敬形式である「~어 (아) 주시다/~e(a) jusida/」に翻訳したものが 1 例で、「くださる」の使用例全体の 2%を占めており、意識で翻訳したものが 4 例で、「くださる」の使用例全体の 9%を占めている。

次の例 (2 1) は韓国語で「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳した例文である。

- (2 1) ひとりずつ確かめてくださるのが、うれしかったし、
한 사람씩 확인해주는 것이 우선 즐거웠고,

(『窓ぎわのトットちゃん』より)

次の例 (2 2) は韓国語で「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」の尊敬形式である「~어 (아) 주시다/~e(a) jusida/」に翻訳した例文である。

- (2 2) なんでも教えてくださるからね
뭐든지 가르쳐 주실 거야.

(『窓ぎわのトットちゃん』より)

日本語の「くださる」は韓国語で主に「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳しており、「~어 (아) 주시다/~e(a) jusida/」という尊敬形式で翻訳したものは 1 例しかなかった。このような結果は、日本語の「くださる」のような尊敬形式は、素材敬語を使用する韓国語においては必ず敬語形式が選択されるだろうという予想とは異なる結果であった。

4. 2. 5 「もらう/てもらう」表現とその翻訳文

4. 2. 5. 1 「もらう」表現について

本研究において、日本語の「もらう」の使用例は 32 例あった。そのうち、韓国語で「받다/batda/」に翻訳したものが 18 例で、「もらう」の使用例全体の 56%を占めており、「얻다,타다,가지다」などの動詞に翻訳されたものが 4 例で、「もらう」の使用例全体の 13%を占めており、意識で翻訳したものが 10 例で、「もらう」の使用例全体の 31%を占めている。

次の例 (2 3) は韓国語で「받다/batda/」に翻訳した例文である。

- (2 3) 七十五歳のじいさんにネックレスを貰ったとか、
일흔다섯살의 할아버지에게 목걸이 선물을 받았다는 등,

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

今までの先行研究でも、日本語の「もらう」は韓国語の「받다/batda/」に相当すると述べている。本研究においても日本語の「もらう」表現は韓国語で「받다/batda/」に翻訳したものが一番多い結果となっている。

次の例 (2 4) は意識で翻訳した例文である。

(24) 残りの半分をまたオカンに貰って十五万円を用意した。

나머지 반은 다시 어머니에게 손을 벌려 15 만 엔을 준비했다.

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

日本語の「もらう」を意識で翻訳したものが 10 例と比較的多いという結果は、日本語の「もらう」と韓国語の「받다/batda/」の意味にずれがあることを示唆している。例(24)の「もらう」を韓国語で「받다/batda/」に翻訳した場合、その韓国語の文の意味は「母から 15 万円を受け取った」という意味にしかならず、日本語の「もらう」の有難さを表現できない。韓国語の「받다/batda/」は「実物を受け取る」という意味が強いため、日本語の「もらう」の繊細なニュアンスを完全に網羅することが難しいことから韓国語に翻訳する場合は意識が多くなるのである。

4. 2. 5. 2 「てもらう」表現について

本研究において、「てもらう」の使用例は全部で 132 例あった。そのうち、韓国語で「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳したものが 38 例で、「てもらう」の使用例全体の 29%を占めており、「받다/batda/」、「얼다」、「타다」など本動詞で翻訳したものが 33 例で、「てもらう」の使用例全体の 25%を占めており、「~어 (아) 달라/~e(a) dalla /」に翻訳したものが 13 例で、「てもらう」の使用例全体の 10%を占めており、使役形で翻訳したものが 6 例で、5%を占めており、「名詞+받다/batda /」形の複合動詞で翻訳したものが 4 例で、「てもらう」の使用例全体の 3%を占めており、意識で翻訳したものが 38 例で、「てもらう」の使用例全体の 29%を占めている。

次の例(25)は韓国語で「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳した例文である。

(25) 高校生くらいの女の子にボクは遊んでもらっていたのだが、
고등학생쯤 되는 누나가 내내 나랑 놀아주었는데,

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

次の例(26)は、韓国語で「받다/batda/」など本動詞に翻訳した例文である。

(26) 前野君のお父さんに買って貰ったその時計だけは、
마에노 군의 아버지에게서 받은 그 시계만은,

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

例(26)のように実際の物の移動が伴う場合、日本語の「てもらう」が韓国語では「받다/batda/」などの本動詞で翻訳される傾向がある。

次の例(27)は韓国語で「~어 (아) 달라/~e(a) dalla /」に翻訳した例文である。

(27) BCLのラジオ付きのラジカセを買ってもらって、
단과 라디오 (BCL) 가 딸린 카세트를 사달라고 해서

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

次の例(28)は韓国語で使役形に翻訳した例文である。

(28) 東京でのことを、友達に聞いてもらって、
도쿄 이야기를 친구가 대신 나서서 물어보게 하고

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

日本語の「てもらう」表現には、相手が自分のために何かをするように仕向けるという意味合いが含まれている。このような意味は使役形と通ずるところがある。そのため、例(28)のように韓国語で使役形で翻訳される場合があると考えられる。

次の例(29)は、「名詞+받다/batda/」形の複合動詞に翻訳した例文である。

(29) 知り合いからスバル・レオーネを安く譲ってもらった。

이는 사람에게서 스바루 레오네를 싼 값으로 양도받았다.

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

例にあげた「양도(譲渡) 받다」以外にも「소개(紹介)받다, 진찰(診察)받다」などがあった。徐(2007)でも、この点に言及しており、「名詞+받다/batda/」は受動の意味を表すと述べている。本研究の実例を分析すると、日本語の「紹介してもらう」は「紹介される」と、「診察してもらう」は「診察される」と類似した意味を持っている。このことから、日本語の「てもらう」表現が韓国語では受動の意味を持っている「名詞+받다/batda/」に翻訳していると考えられる。

次の例(30)は意識で翻訳した例文である。

(30) 前野君のところで飼ってもらっていた犬だ。

마에노 집에 맡긴 개였다.

(『東京タワー —オカンとボクと、時々、オトン—』より)

例(30)で「犬を前野君が飼っている」という事実は日本語の文でも韓国語の文でも同じであるが、日本語の文では「動作の主体は前野君」であるのに比べ、韓国語の翻訳文では「動作の主体は私」になっている。同じ結果であっても日本語の「てもらう」文と韓国語の翻訳文で汲みとれる意味合いは異なる。このように日本語の「てもらう」の使用例の韓国語の翻訳に意識が多いという結果は、日本語の「てもらう」に完全に合致する韓国語はなく、その都度日本語の「てもらう」表現の意味を汲み取って翻訳するしかないことを物語っている。

4. 2. 6 「いただく/ていただく」表現とその翻訳文

4. 2. 6. 1 「いただく」表現について

本研究において、「いただく」の本動詞としての実例は何かを食べる時の決まり文句である「いただきます。」という1例しかなかった。この結果は、日本語では、「いただく」の本動詞としての使用は少ないことを示唆している。

4. 2. 6. 2 「ていただく」表現について

本研究において、日本語の「ていただく」の使用例は全部で10例あった。そのうち、韓国語で「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳したものが3例で、「ていただく」の使用例全体の30%を占めており、韓国語で「~어 (아) 주시다/~e(a) jusida/」に翻訳したものが2例で、「ていただく」の使用例全体の20%を占めており、韓国語で「~어 (아) 달라/~e(a) dalla/」に翻訳したものが1例で、「ていただく」の使用例全体の10%を占めており、意識で翻訳したものが4例で、40%を占めている。

次の例(31)は韓国語で「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳した例文である。

- (3 1) 校長先生から教えていただいた自分の教室である。

교장선생님이 알려주신 전철 교실

(『窓ぎわのトットちゃん』より)

次の例(3 2)は韓国語で「～어 (아) 주시다/～e(a) jusida/」に翻訳した例文である。

- (3 2) まあ出来れば署の方においでいただきたいということなんです。

되도록이면 서까지 함께 가주셨으면 하는 것입니다.

(『ダンス・ダンス・ダンス』上より)

次の例(3 3)は韓国語で「～어 (아) 달라/～e(a) dalla /」に翻訳した例文である。

- (3 3) こうやって、やめていただきたい、とお願いはいたしません！！

제가 이렇게 학교를 그만둬 달라고 부탁드리지도 않죠!

(『窓ぎわのトットちゃん』より)

次の例(3 4)は意識で翻訳した例文である。

- (3 4) あなたは、まだ、この学校に入れていただいてないんだから。

넌 아직 이 학교에 다니지 않으니까.

(『窓ぎわのトットちゃん』より)

林(1980)では、韓国語には日本語の「いただく」と「ていただく」に相当する謙譲語は存在しないと述べている。このことから日本語の「ていただく」表現を韓国語で翻訳する際は文全体の意味に頼るしかなく、当然のことながら意識が多くなるのである。

5. 本研究のまとめと今後の課題

本研究では、日本語の小説とその小説の韓国語による翻訳本を対象に日本語の授受表現が韓国語ではどのように扱われているかを調べ、日本語と韓国語の授受表現について対照研究を行った。

日本語の小説の中の授受表現とそれに対応する韓国語表現を以下のようにまとめる。

1) 日本語において、「やる」の本動詞としての表現はあまり使われていない。日本語の「てやる」は韓国語では主に「～어 (아) 주다/～e(a) juda/」に翻訳される。また、日本語の「てやる」表現が「自己意志の顕示・強調」の機能を果たす場合、韓国語では「てやる」が翻訳されず省略される傾向がある。

2) 日本語の「あげる」は韓国語では主に「주다/juda/」に翻訳される。会話文の「あげる」は韓国語では「드리다/deurida/」に翻訳することもある。日本語の「てあげる」は韓国語では主に「～어 (아) 주다/～e(a) juda/」に翻訳される。会話文においては、日本語の「てあげる」は韓国語では「～어 (아) 드리다/～e(a) deurida/」に翻訳される。また、韓国語では日本語の「てあげる」を物事の順序として捉えて「～다 주다/～da juda/」に翻訳することもある。

3) 日本語の「くれる」は韓国語では「주다/juda/」とその命令形である「달라/

dalla/」、尊敬形式である「주시다/jusida/」に翻訳される。日本語の「てくれる」は韓国語では「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」とその命令形である「~어 (아) 달라/~e(a) dalla /」、順序を表す「~다 주다/~da juda/」に翻訳される。会話文における「てくれる」は韓国語で「~어 (아) 주시다/~e(a) jusida/」に翻訳される傾向がある。

4) 日本語の本動詞「くださる」はあまり使用されない。日本語の「てくださる」は主に「てください」と「てくださる」という二つの形式で現れる。日本語の「てください」は主に会話文で使用されており、韓国語の「~어 (아) 요/~e (a) yo/」と尊敬形式である「~어 (아) 주세요/~e(a) juseyo/」に翻訳される。日本語の「てくださる」は韓国語では主に「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」に翻訳されており、「~어 (아) 주시다/~e(a) jusida/」という尊敬形式で翻訳されることもある。

5) 日本語の「もらう」は韓国語では主に「받다/batda/」などの本動詞で翻訳される。また、韓国語の「받다/batda/」は「実物を受け取る」の意味が強く、日本語の「もらう」の受益性を表現することが困難であるため、日本語の「もらう」は韓国語では意識に頼る傾向がある。日本語の「てもらう」は韓国語では「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」、「~어 (아) 달라/~e(a) dalla /」、本動詞「받다/batda/」、「使役形」、「名詞+받다/batda/」の複合動詞など多様な形式で翻訳される。また、韓国語の「받다/batda/」は補助動詞として使えないことから、意識が多くなる傾向がある。

6) 日本語の「いただく」は食べ始める時の決まり文句である「いただきます」という形式以外はあまり使用されていない。日本語の「ていただく」は韓国語では主に「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」、「~어 (아) 주시다/~e(a) jusida/」、「~어 (아) 달라/~e(a) dalla /」といった「~어 (아) 주다/~e(a) juda/」の関連形式に翻訳されることが多い。また、韓国語には日本語の「ていただく」に相当する謙讓語がないことから、日本語の「ていただく」を韓国語に翻訳する場合には意識に頼る傾向がある。

7) 敬語の観点からみると、韓国語は素材敬語であるため、目上であれば身内であっても敬語を使用する。また、韓国語では地の文より会話文の方が敬語を多く使用している。特に聞き手に何かを依頼する場合に敬語を使用する傾向がある。さらに、女性の会話文において敬語を多く用いる傾向がある。

日本語と韓国語の授受表現に関する対照研究には、日本語の授受表現を韓国語では如何に取り扱うかという一方的な観点だけではなく、韓国語の授受表現に対する日本語の取り扱い方についての研究も必要になる。今後、韓国語の小説とその日本語による翻訳本を対象に、引き続き日本語と韓国語の授受表現について対照研究を行うことにする。

参考文献

庵功雄(2001)『新しい日本語学入門—ことばのしくみを考える』アルク

庵功雄ほか(2001)『中級を教える人のための日本語文法ハンドブック』アルク

- 井上和子(1989)『日本語文法小事典』大修館書店
- 市川保子(2005)『初級日本語文法と教え方のポイント』アルク
- 林八龍(1980)「日本語韓国語の授受表現」日本語教育 40 号
- 上野田鶴子(1978)「授受動詞と敬語」『日本語教育』35 号 pp. 40-48 日本語教育学会
- 奥津敬一郎・徐昌華(1982)「「～てもらおう」とそれに対応する中国語表現—請を中心に—」『日本語教育 74 号』
- 黄順花(1994)「日本語の補助動詞「～してもらおう」に関する韓国語との対照研究」日本語学報第 33 号
- 迫田久美子(2002)『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク
- 徐珉廷(2007)「V てもらおう」は韓国語でいかに現れるか—その出現形式と要因—『昭和女子大学院言語教育』第 2 号 pp. 67-80 昭和女子大学
- 宋恵仙(2009)「日本語と韓国語のやりもらい動詞のボイス性」日本近代学研究第 24 号
- 谷守正寛・林田(2001)「日本語のテモラウの韓国語辞典における取り扱いについて」『鳥取大学教育地域科学部紀要』pp. 149-158 鳥取大学教育地域科学部
- 中島一裕・文燕友(1986)「日韓国語授受表現の対照研究」『国語表現研究』第 3 号 pp. 56-64 大阪教育大学国語学第 1 研究室
- 野田尚史(2001)『日本語学習者の文法習得』大修館書店
- 原田登美(2007)「日本語会話における授受表現の使用実態とポライトネス・ストラテジー」『言語と文化』11 号 pp. 117 - 138 甲南大学
- 森下喜一・池景来(1989)『日本語と韓国語の敬語』白帝社
- 山田敏弘(2004)『日本語のベネファクティブ—「てやる」「てくれる」「てもらおう」の文法』明治書院
- 油谷幸利(1988)『ハングルの基礎』大修館書店
- 尹喜貞(2006. 6)「授受補助動詞の習得に日本語能力、及び学習環境が与える影響—韓国学習者を対象に」『日本語教育』130 号 pp. 120-129 日本語教育学会
- 尹喜貞(2006. 12)「日本語学習者の授受動詞の習得における母語の影響」『第 17 回第二言語習得研究会全国大会予稿集』pp. 87-88 第二言語習得研究会

付記

本誌投稿にあたり御指導下さった浅川哲也先生に御礼申し上げます。

(ぼく きんじょ・首都大学東京人文科学研究科博士後期課程)